

れいんぼ—Topics



「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されました。この法律により、医療的ケア児とその家族が、適切なサポートを享受できる社会に向け、さらに動きが加速することが期待されます。宮古圏域では、医療的ケア児や重症心身障がい児の短期入所の受け入れ先がないことが課題でしたが、今年度、老人保健施設「ほほえみの里」さんで短期入所を実施することができました。詳しくは、Report!「福祉の現場から」に詳しく掲載しています。表紙の写真は短期入所利用時の写真となります。宮古圏域にとって一歩前進といえます。今後もみなさんの協力をいただきながら、共生社会の実現に向けて活動をつみかさねていきたいと思います。(担当:高屋敷)

目次 CONTENTS

●れいんぽーTopics ······ 1	●Report! 「福祉の現場から」 6~7
●年頭にあたって	●特集 あの人にインタビュー 前川あさ美先生 8~9
●Close-up! 自立支援協議会	●なんでもKEIJIBAN、
●こんにおけ「地域活動支援センターみやこ」です」 5	炉 (全)

明日へ向かって下さい

特定非営利活動法人 宮古圏域障がい者福祉推進ネット(会長) 刈屋 (裕之)



症により、人と人とが直接かかわる情にも、新型コロナウイルス感染時にも、新型コロナウイルス感染職員一同笑顔を途切れさすことなく用者一人ひとりに真摯に寄り添い、用者があればもレインボーネットは、毎年私どもレインボーネットは、毎年

げます。
カをいただきますようお願い申し上力をいただきますようお願い申し上そしてご家族の皆様のご理解とご協う後とも、障がいを抱える方々、の賜物と感謝申し上げます。

いました。

きたのも、ひとえに皆様方のご協力ことが難しくなる中で活動を継続で

ご了解ください。いを述べさせていただきますので、『飛澤和夫』氏への追悼としての思目にご逝去されました前会長である日にご逝去さないました前会長であるさて、ここからは、去る十月十八さて、ここからは、去る十月十八

す。と三十年ほどのことになると思いまと三十年ほどのことになると思いま飛澤会長と出会ったのは、遡るこ

でである。 「一般をしたことがあります。 に会長なのです。)発言に、激しく 私は飛澤会長の(私にとっては未だいう立場だったその時、会議の中でいう立場だったとの時、会議の中で

ください。」 「聞き捨てがなりません。撤回して

ら見み合いました。 「いや、しない。」 くたてし

終了後には、といれども会議のと睨み合いました。けれども会議の

んな若僧に、やさしくお話しくださと笑顔を見せてくださいました。こたちに聞いてもらってよかった。」と頭を下げる私に、と頭を下げる私に、

なっておりました。は親父に甘える息子のような気分にのです。その事を知ってから、私は飛澤会長のご長男と同級生だったは飛澤会長のご長男と同級生だった

ラスバンドが記念演奏を披露してくしているときに、宮古高等学校のブの落成式典の時でした。並んで参列宮古市総合体育館のシーアリーナ



H27.7.29

れました。

会長は、 無しにします。本当に大変な役割な 間違えればそれまでの演奏全てを台 最後の一打ちは、ほんの一瞬の勝負。 むかもしれない。ところが大太鼓の 安があれば演奏をストップすれば済 複数人で演奏しているでしょう。不 後に〝ドン〟と打つだけなんだ。」 だ立っている大太鼓の役は家の孫娘 言のようですごいじゃないですか。」 んですよ。まさに、日頃の会長の とけげんな顔で話しました。私は、 なんだよ。恥ずかしい。ただ一度最 ンドというのに、あの後ろの端にた 会長なにを言うんです。他の楽器は 「刈屋さん見てみなさい。ブラスバ

ました。と頷いてニコニコしていらっしゃいね。いい話をありがとう。」やの帰ったなら誉めてあげなければうん、そんな意味があったのか。「うん、そんな意味があったのか。

会福祉協議会、宮古地域のボラン飛澤会長は、民生・児童委員、社

域の福祉の父でありました。ボーネットの会長としてここ宮古地ティア連絡協議会、そして当レイン

りました。日を作って下さった大きな宝物となく接することが出来たこと、私の今県内の研修、会議にご一緒し、近

後任会長を請われたときの、この言日に向かって下さい。」

しこ。 ・長いお役目、ありがとうございま葉を忘れません。

た「飛澤和夫会長」
大好きだった奥様の元へ旅立たれ

てお祈りいたします。安らかでありますように願い、そし感謝の思いを抱きながら、どうぞ

合掌



フローズアッフ CLOSE・ UP!

実務担当者会議

佐々木 和也 氏 (田野畑村健康福祉課)

るを得ない会議もありました。 縮しての開催や、残念ながら中止せざ 症の影響を受ける形となり、時間を短 度に引き続き新型コロナウイルス感染 本年度の実務担当者会議は、

継続協議してきた

そのような状況の中、当会議で長 「医療的ケア

児の支援」「地域生活支援拠点の整 ねてきました。 要課題について、 「成年後見センターの設置」の重

整を進めています。 拠点と成年後見センターは、 から短期入所が実現。地域生活支援 年4月から運用開始することで、 介護老人保健施設の協力により7月 医療的ケア児の支援については、 令和4 調

なりました。 実現に向けて大きく前進できた年に も内容の濃い協議を行い、課題解決 時間短縮した会議でしたが、とて

組んでまいります。 を目指し、関係機関で協力して取り 全ての人が暮らしやすい社会の実現 今後も、 障害の有無に関係なく、

集中的に議論を重 過去の寸劇DVDを上映した上で質 開催することができました。 出張する形での権利擁護セミナーを 勢において、地元の方々にご参集い のではありましたが、現在の社会情 ただき、セミナーを開催できたこと 疑応答を行うという、シンプルなも 今年度の大きな活動成果と考え

られている成年後見センターの設置 そのほか、部会では、検討が進め ております。



実務担当者会議

権利擁護部会

(松本法律事務所) 松本 良啓氏

権利擁護部会

討していく必要性を実感した1年で 開設後の当部会のあり方などを含 に関する議論を行いました。センター 各種の制度や組織のあり方を検

内容は、

大井 義憲 氏

(岩泉町社会福祉協議会いずみの里

ていません。 ルス感染症拡大の影響を受け、予定 は、前年度と同様、新型コロナウイ していた活動が思うように実施出来 生活支援部会の今年度の取組み

なっていますが、唯一農福連携の畑 業に影響しています。当事業所にお 影響は就労継続支援B型事業所の作 げることが出来ています。 わさび調整作業は、量及び収益を上 いても、前年度に続き厳しい状況と 新型コロナウイルス感染症拡大の

繋げることが出来ています。 度は宮古市内のしいたけ栽培の企業 会でも取り上げられましたが、今年 、見学をし、2事業所が受託作業へ 農福連携については、生活支援部

生活支援部会として岩泉町内の畑わ 農業改善普及センター主催のもと、 当事業所は、平成22年9月に宮古

で部会の活動に影響がありました。

それでも、

岩泉町と田野畑村で

者を調整したりするなど、様々な形

なったり、

権利擁護セミナーの参加

に振り回された1年でした。

今年度も新型コロナウイルス対策

予定していた9月の部会が中止と

前年度より調整作業を本格的に実施 すことも検討しています。 ていることから、今後作業量を増や ます。作業に携われる利用者が増え 利用者から「楽しい」と話しがあり 天候等で大変なこともありますが、 さび調整作業の体験会に参加しまし ています。外の作業であるため、 その後、3年の試行作業を経て、

業に繋がるよう、今後生活支援部会 以外の情報収集も行い、 も広がっていることから、 農福連携の他に水福連携の取組み 利用者の作 宮古地区



生活支援部会

が中心となって取組んでいければ良 いと思います。

精神保

佐々木 辰也 氏

(社会福祉法人 親和会 障がい者支援施設 望みの園はまなす)

だきました。普段私は入所施設のサ 思っております。この部会での主な るように宮古圏域においての役割を すが、ご本人様の思いをどれだけす れまでの活動を通じ感じている事で ビ管として勤務しておりますが、こ い話を伺い貴重な経験をさせていた となりましたが、普段お聞きできな 防止の観点からオンラインでの開催 型コロナウイルス感染症の感染拡大 との合同開催となりましたが昨年度 援の推進、 活動は精神科病院より地域移行支 長としてまだまだ若輩者ではござい いをお持ちの方が安心して生活でき じております。 ればならない我々の使命であると感 くい上げられるかが地域を支えなけ るセミナーを開催しております。 ております。今年度は発達支援部会 普及啓発、研修会の企画、開催を行っ いをお持ちの方の支えと成れればと ますが、部会員の皆様と一緒に障が をさせていただいております。 に続き、筑波大学の斎藤環教授によ 今年度より精神保健部会の部会長 精神障がいに対する理解促進や 地域社会資源の開発や改 今後は今以上に障が 新



精神保健部会

櫛桁 (発達支援部会事務局) 彩子氏

関係機関との話し合いを進めてきま を有効活用し課題に対応できないか、 題でした。なんとか、地域内の資源 期入所の受け入れいが従来からの課 域では、医療的ケア児等の日中や短 共有することができました。宮古圏 療的ケア児等の現状と課題について 動内容として「医療的ケア児等支援 した。 は2回実施し、 に関する協議」 今年度の発達支援部会の大きな活 そして、今年度、 医療等それぞれの立場から医 があります。 行政、福祉、 医療法人仁 今年度 保健、

担っていきたいと思います。



発達支援部会

里」にて医療的ケア児等の短期入所 泉会「介護老人保健施設ほほえみの を行う事ができました。このことは 宮古圏域にとって大きな成果といえ

くの皆様に視聴いただきました。 こもり~承認につながる対話的支援 藤環先生をお招きし、「不登校とひき 学医療系社会精神保健学 を10/24 (日)にオンラインの形で 的な対話の重要性等のお話しを、 ~」と題した、結論を急がない肯定 開催しました。講師に筑波大学 また、 これからも、誰もが安心でより良 宮古圏域発達支援セミナー 教授の斎

ら活動を続けていきたいと思います。 する皆様との連携をさらに深めなが い生活を送る事が出来るよう、関係

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対 象に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社会生活技能訓練) ピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会 基盤との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。



佐々木和幸氏

ですね。

方が現れると嬉しい ターとして活躍する 圏域にもピアサポー

動でした。今後宮古

当日の様子

をすることが出来ました。 援センター星雲(大船渡)でピアサポーター 場ですが、11月26日の活動では、地域活動支 父流を図りながらお互いの気持ちや意見交換 として活躍している佐々木和幸氏を招いて、 **沽動で、テーマに沿って自分自身の話をする** ピアカウンセリングは毎月取り組んでいる





す。受け止め方は自由でありますが、

ピア同

士分かり合える部分があると再確認できた活

り方でいくと思った方様々だったと思いま

にしたいと思った方、参考にしつつ自分のや

佐々木さんのお話を受け共感した方、

想が聞かれました。



木枠へ楮を流す様子



完成作品

招いて、 の閉伊川紙を伝承している栗橋くみ子氏を令和3年7月8日と12月7日には、宮古 楮100%の原料に触れるという貴重な体 に癒されながら楽しく取り組みました。 参加者全員が満足し、 参加した皆さん、柔らかく優し 和紙作りに挑戦しました。宮古産 楽しかったとの感 楮





9

户 1

からレ

インボ

ネットで支援員をしてい

ま

福祉関係の仕事は初めて

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、思うように活動できな

施してきました。様々な活動を通し、参加者同士の交流がはかられ繋がる かったこともありましたが、感染症対策をしながら小さく静かに活動を実

ことができました。その活動の一部をご紹介します。













今年度、第2回、第4回定例会において、 の関係機関の皆様にご参加頂き、県の動 岩手県障がい保健福祉課の担当者を始 援に係る協議の場」の機能を担っており、 達支援部会」では、「医療的ケア児等支 医療・福祉・保健・保育・教育など



所はおそらく県内でも初めての試みでは がなされました。高齢者施設での短期入 健施設ほほえみの里で実施したとの報告 域内にある医療法人仁泉会 介護老人保 かった医療的ケア児等の短期入所を、 課題であり内陸の施設に頼らざるを得な 共に、宮古圏域の現状や課題について話 ないかと思われます。 し合われました。その中で、これまでも 向や県内他地域の状況を情報提供頂くと 巻

なり、てんかん発作もある等、 ど栄養状態によっては経管栄養が必要と 的なケアはないものの、食事や水分量な 風支援学校高等部ー年生の攝待晧士さん において介助が必要です。 (16歳) です。晧士さんは、常時の医療 短期入所を利用したのは、県立宮古恵 生活全般

りも、 後も継続していく予定です。 あり今年は3回のみの利用でしたが、 だったと聞いています。 られて笑ったりと、 職員から心配されていた高齢者との関わ 会議を行い、1泊で利用しました。施設 令和3年7月に関係者参加のもと支援 一緒にテレビを観たり、 とても和やかな様子 感染症の影響も 声を掛け

短期入所実現に向けての支援会議

ます。 なることを願っています。 今回の一歩が今後に繋がる大きな一歩に 家族に対する支援に関する法律」も公布 今年6月には 今後更なる支援の充実が期待され 関係者の皆様に感謝すると共に、 「医療的ケア児及びその 宮古圏域障がい者自立支援協議会「発

(担当:緑川

Re

宮古保健福祉環境センター福祉課

主事

福

 \mathbb{H}

奈々恵



等について調査検討を行ってきました。 ながら、整備に向けた主要課題の方向性 の中で関係機関へのニーズ調査も実施し ンググループを設置(3回開催)し、そ しては、これまで、平成30年度にワーキ 宮古圏域の地域生活支援拠点整備に関

度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、

地域生活支援拠点とは、障がい者の重

居住支援のための機能をもつ場所や体制

のことです。

体制づくり」「⑤緊急時の受け入れ・対応 談支援機能」 ③専門的人材の確保・養成」「④地域の 居住支援のための主な機能は、「①相 「②体験の機会・場の提供」

の5つを柱としています。

拠点に求められる全ての項目を網羅する 入れ・対応が可能となり、地域生活支援 れることで、⑤の24時間の緊急時の受け 時間の緊急受け入れには対応できていな 実施されていました。しかしながら、 業運営で、①から④の機能について概ね ことができるようになります。 い現状にありました。今回拠点が整備さ 宮古圏域では、 既に面的整備に近い 24

感謝しております。 ることとなり、関係機関のみなさまには が、宮古圏域では1年以上早く整備され 拠点等を確保することとなっています 村又は各圏域に1つ以上の地域生活支援 祉計画では、令和5年度末までに各市町 第6期障害福祉計画・第2期障害児福

になることを願っています。 者の方々がさらに安心して暮らせる地域 も関係機関と連携しながら機能の充実等 活用し、運営会議を開催する予定となっ を図っていきたいと考えており、 ています。整備して終了ではなく、 整備後も障がい者自立支援協議会等を 障がい 今後



地域生活支援拠点 つむぎ

東京女子大学 あさ美先生

させてくれました。つまり、支援にお 動こうとしてしまうことがあります。 を持っているが故に、『これをすべき』 ごく記憶に残っています (笑)。専門 ないか』を考えられる人に来てもら をすべきか』以上に『何をすべきでは 時、傍らにいらした職員から、「『これ の教育委員会を訪問しました。その 力化させてしまいかねません。このこ ちをエンパワメントするどころか、無 支援活動を展開することは被災者た す。何か月も滞在することができない ける主人公とはだれかという思いで この言葉は、私に大切なことを思い出 という意識が強まり、使命感だけで 職は自らの専門性というものに自信 いたい」と言われました。それが、す 家は何もわかっていない」「今は、『何 をすべきだ』と外から入ってくる専門 被災地外の私たちが、支援者主導で 普段の臨床においても大切な

がお話した内容を編集しお届けいたします。

用し、十る

です。夫婦喧嘩や虐待などが増えた とに戸惑った保護者が多かったよう る中、子どもとどう過ごすかというこ どもとともに自宅にいる時間が増え

ているといわれます。コロナ禍で、子 今、人間関係力や家族関係力が弱まっ

紙面の関係上、すべてを掲載することはできませんが、

前川先生

先生にインタビューを行いました。人を支えるということ、関係 者と協働していくことになどについて、お話しいただきました。

前川あさ美(まえかわあさみ)

機関紙第33号の特集として、

しょうか。 が過ぎましたが、振り返っていかがで ていただきました。早いもので10年 Q:前川先生には震災時に支援に入っ

常事態の中で緊張と興奮も加わって うと思います。 専門職として気負いがあったんだろ ことです。知っていたつもりでも、

傾向でもいいですし、いま感じている Q:これまでの、臨床経験から近年の

ことでも結構です。コメントをいただ

ければと思います。

かできることはないですかと、宮古市 職のメンバーで被災地に入って、なに 前川先生:当時、5人ぐらいの心理

> 私たちは自立をめざし、ひとりでな 力をもっていくのです。ですが、 私たちは支えあい、補いあうという とりでできないことがあるからこそ、 のではないことも知っていきます。ひ が、決してひとりだけで生きられるも んでもできるようになっていきます んの人の喪失体験ともなるわけです。 の喪失ではなく、関わってきたたくさ とりの人の死というのは、ひとりの命 ということを実感します。例えば、ひ とりだけで存在しているのではない 前川先生:臨床をしていると、人は

うことができるようになりま

持集 あの人にインタビュー 前川あさ美先生

況の中で、自分たちの中にある、他 まうことがあります。不便である状 力を活性化させてくれるのです。 私たちの中にあった、人と人をつなぐ ることは可能です。むしろ不便さが、 便さの中でも、こうして関係を育て りということもあったといいます。 感嘆したり、頻繁にコミュニケーショ 過ごすことで、普段見えなかった姿に とも言われています。一方で、一緒に 合いや補い合いの機会を手放してし きるように見えることが増え、 会が便利になることで、ひとりでで ンをはかることで新たな理解を得た 助け 社

生きている環境や人間関係も な人たちとチームを組むこと ます。いろいろな職種、 でも、現代の支援活動にはチー る過程に近かったと思います。 程は、個人プレーヤーを育て 門性を身に着け、磨いてきま 要支援者をいかに理解するか、 近づけないということが増え の力では要支援者のゴールに 臨床の現場でも、心理職だけ 識できるといいなと思います。 者と一緒に生きていく力を意 エンパワメントしていくとい で、支援を必要としている個 ムプレーヤーが求められてい した。そのトレーニングの過 いかに成長させるかという専 ています。これまで心理職は、 **へだけではなく、その個人が** 様々

にすること、そうしたことも支援者の割分担や支援の方向性の共有を丁寧強みを相手にわかってもらうこと、役ろに耳を傾け、受容と共感をしていろに耳を傾け、受容と共感をしていろに耳を傾け、受容と共感をしていろことは基本であり、支援活動の出くことは基本であり、支援活動の出くことは基本であり、支援活動の出くことは基本であり、支援活動の出くことは基本であり、支援活動の出くことは基本であり、支援活動の出くことは基本であり、支援活動の出りがある。ここには、個人プレーヤーではなす。ここには、個人プレーヤーではなす。ここには、個人プレーヤーではなす。ここには、個人プレーヤーではなす。ここには、個人プレーヤーではなり、

あると思っています。 最初の学びに取り入れていく必要が

目は、 考にしてもらえそうな、4つのRをお はじめて、ありのままの要支援者と のある自分の一部であるとありのま 分の中の弱さも強さも、ともに意味 ていてほしいです。支援者として、自 てください。また、支える者は同時 のほかに、岩手県内の関係者にも届 自分自身とはたくさんおしゃべりし 支援者の前では聴くことを大切にし、 出会えるのです。最後に、 まに認めてください。そうすることで に支えられているという体験も持っ 落ち込むときもあるでしょう。支援者 前川先生:支援をしていれば、うれし にメッセージをお願い致します。 Q:最後に、この機関誌は宮古圏域 てください。2つ目は、Regard する、自分と向き合う」、支援者は要 伝えして終わりたいと思います。1つ いこともあり、時には、傷つくことや、 きます。日々支援に携わる多くの方々 人間である」ということを大切にし 弱さも強さももった「当たり前の Reflect(リフレクト)、「内省 支援の参

> こと、4つ目が Response (レスポ 評価せずに受け入れようとすること きることを楽しみしています。 では、皆さん、 いよう寄り添うということです。それ え返したり、要支援者を孤立させな 供することではなく、理解できたこ ンス)、「応答する」、正しい答えを提 とりの人間としてすごいなあと敬う 敬する」、相手が障害をもっていよう 3つ目は、Respect (リスペクト)、「尊 ガード)、「関心を向ける」、要支援者 と、できなかったことを要支援者に伝 と、子どもであろうと、命をもったひ に対して関心を向け、できるかぎり またどこかでお会いで



前川あさ美(まえかわあさみ)

公認心理師東京女子大学現代教養学部心理・コミュニケーション学科心理専攻教授(臨床心理士・東京女子大学現代教養学部心理・コミュニケーション学科心理専攻教授)臨床心理士・

る。また、喪失体験等の心の傷の理解と心がもっている回復力について研究されています。長年、虐待やいじめ、その他対人不適応などを抱えた子どもたちや家族への支援に携わ大学院臨床心理専攻、東京大学大学院博士課程教育学研究室教育心理学専攻、著書多数。東京大学教育学部心理学科、東京大学大学院教育学研究室教育心理専攻、アイオワ大学

ばかで

会

場.. 時... 令和4年1月22日 イーストピアみやこ(多目 的ホール、会議室1・2) 9時30分~15時

はあとふるフェスタ2021

この映画には、

東日本大震災の

 \pm

容..

②理解啓発 ①障がい者アート移動展示会

字幕・音声ガイド・手話通訳付き

※9時30分開場 10時~11時30分 ミナー 【第一部】宮古圏域スキルアップセ びにい美術館) アーティスト小林覚氏、アート ディレクター板垣崇志氏(るん 講演・実演《であい授業》

※詳細はレインボーネットへお問 るんびにい美術館からのLive Zoomにてオンライン視聴も可能 中継にて講演・作品制作の実演 合せ下さい。

> 方々も出演者として登場してお の皆さんの他に、障がい当事者の 者の活動が描かれています。 広げられています。 一時を知る方々への取材に基づい 当時の障がい者の状況と支援 人間味あふれるドラマが繰り 俳優

べてみると「辛いけど美味し苦手だったのですが、いざ食 に挑戦した年でした。今まで

い」という感覚が分かるよう

にチャレンジしようかな~♪ になりました(笑)今年は何 毎週楽しんで見ています(笑)まだまだ続いており、二期も私の中の鬼滅の刃ブームは

そして、昨年は辛い食べ物

うかな~←きっとやらないなまぁ気が向いたらやってみよ …掃除かぁめんどいわぁ…。 の水拭き二、窓ふきと

番目まで見て心が折れました

ぞ!と思いましたが

る6つの開運アクション」と

いう言葉を発見!おっい

床い

【作品:小林 覚 氏「Tomorrow」】

■会員数の状況(令和3年11月30日現在) 個人会員 78名 (正会員 62名・賛助会員 16名) 団体会員 34団体(正会員 28団体・賛助会員 6団体)

○団体会員のご紹介(令和3年11月30日現在・順不同)

団 体 名		
	フリースクール花鶏学苑	わかたけ学園
	県北緑化株式会社	宮古恵風支援学校
	山田町手をつなぐ親の会	はあとふるセンターみやこ
	わかたけ学園保護者会	望みの園はまなす
	アトリエSun	岩手県社会福祉事業団 松山荘
_	SELPわかたけ	宮古市末広町商店街振興組合
正	みやこワークステーション	みやこ手をつなぐ育成会
会	岩泉町社会福祉協議会いずみの里	社団医療法人新和会 宮古山口病院
	きぼうハウス	宮古アビリティーセンター
	ジョブ・パートナー山田	宮古市社会福祉協議会
	自立生活支援センター・ウイリー	いわて高次脳機能障がい友の会
	あっとほうむlifeみやこ	イーハトーヴ沿岸地区
	宮古市身体障害者福祉会	ワークプラザみやこ
	岩手県沿岸知的障害児施設組合	新里紫桐会 工房まんさく
	はまゆり学園	医療法人財団正清会 三陸病院
表表口も	あおば工房	岩泉町身体障害者福祉協会
賛助 会員	みやこボランティア連絡協議会	とりもと
	職業訓練法人 宮古職業訓練協会	株式会社 川井産業振興公社



レインボーネット事務局

語りて ~Starry Sky~」

第2部

映画上映会

※12時20分開場 12時40分~14時40分

会員募集中です! よろしくお願いいたします



▼発行責任者 企画·編集 会長

URL http://www.miyako-rainbow.com/ E-mail info@miyako-rainbow.com FAX 0193-77-3921 岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号 推進ネット(レインボーネット) TEL 0193-64-7878 はあとふるセンターみやこーF NPO法人宮古圏域障がい者福祉

まいましたから。今年こそは ク無しの顔がイメージできな たらいいなと思います。マス今年こそマスク無しで過ごせ マスク無しで皆で集って、笑っ て過ごすひとときを楽しみた いくらい当たり前になってし 新しい年がやってきます。

ぼ いん しゅう しゅるい ねんかいひ かいいん 正会員 1,000円 替助会員 500円 正会員 5,000円 賛助会員 1,000円

●問い合わせ先 FAX 0193-77-3921 TEL 0193-64-7878 レインボーネット事務局

編 集後

索してみましたら、「すぐでき2022年の運気は?と検 記